



日本のひなた宮崎国スポ・障スポ×須木中学校 大会を通じ地域活性化などを目指す 取り組みを進めています!

令和9年の「日本のひなた宮崎国スポ・障スポ」では、須木地区の小野湖を会場にカヌー(スプリント)とローイングの2競技が開催されます。大会期間中は選手や監督など、全国から多くの人が須木地区を訪れることが想定されており、地域の活性化につながるものと期待されます。

現在、小林市実行委員会では須木中学校と連携し、国スポ・障スポについての出前授業や競技体験などを行っています。今後も、国スポ・障スポという絶好の機会を生かすために連携を進め、大会に向けた機運醸成や大会を通じた地域活性化を目指していきます。



大会について知り、自分たちにできることを考える! 国スポ・障スポを学ぶ出前授業を実施

6月18日と6月30日、大会について知ってもらい、大会を通じた地域の活性化などについて考えてもらうための出前授業を行いました。

6月30日は、4つのグループに分かれ、大会の成功や大会を通じた須木地区の活性化のために自分たちができること、市に提案できることなどを考えるグループワークを行いました。生徒からは「ボランティアに参加する」、「須木オリジナル弁当を作る」、「須木オリジナルのキャラクターやグッズを考える」、「大会後も利用できる遊び場や体験施設を造る」など、たくさんのアイデアが出されました。



写真⑤ 6月18日の様子。クイズを交えながら昭和54年の「日本のふるさと宮崎国体」の様子や宮崎国スポ・障スポの概要などについてお話しました **写真⑥** 6月30日の様子。グループワークで出た意見をホワイトボードに貼り出し、他のグループに向けて発表しました。



校外学習でローイング競技体験・競技会場予定地を見学



7月2日、ローイング体験会と小野湖会場予定地の見学会を行いました。体験会では、宮崎県ローイング協会所属の成年選手の丁寧な指導を受けて、徐々に上達。最後は100mの距離を競争するなど、生徒たちは初めてのローイング体験を楽しんでいました。

また、見学会では和船に乗船してコース予定地などを巡回。事務局職員による会場の整備状況や小野湖に関する説明などを聞きながら競技会場の見学を行いました。



写真1・2・3 実際の競技にも使用される4人乗りの艇に乗り、成年選手にオールの使い方などの指導を受けました **写真4** 和船で会場予定地を見学。ままこ滝の見学も行うなど、小野湖の大自然を体感しました